

第 108 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 30 年 8 月 25 日 (土)

マイナビ転職セミナー (つくば市 ホテルグランド東雲)

2. 来訪者 7 名

3. つくば市で開催されたマイナビ転職セミナーにおいて、ITER 紹介用マンガポスター、ITER Japan の活動状況ポスター、ITER 計画の最新建設状況ポスター、パンフレット、チラシを展示し、ITER 機構職員の状況や ITER 機構職員公募に関する説明を行った。

(ITER 計画管理グループ 三上)

4. 主な Q&A

Q: ITER 計画とは何ですか?

A: ITER 計画は、平和目的の核融合エネルギーが利用可能であることを実証するため、人類初の核融合実験炉を建設・運転しようとする大型国際協力プロジェクトです。ITER 計画は、2025 年ころの運転開始を目指し、日本・欧州連合(EU)・ロシア・米国・韓国・中国・インドの 7 極により進められています。ITER 計画は、国際協力における前例のない挑戦です。この国際協力は 1985 年ジュネーブでの米ソ(当時)首脳会談をきっかけとして開始されました。

Q: ITER 機構職員の勤務地はどこですか?

A: ITER サイト内で業務を行っていただきます。

Q: ITER サイトはどこにありますか?

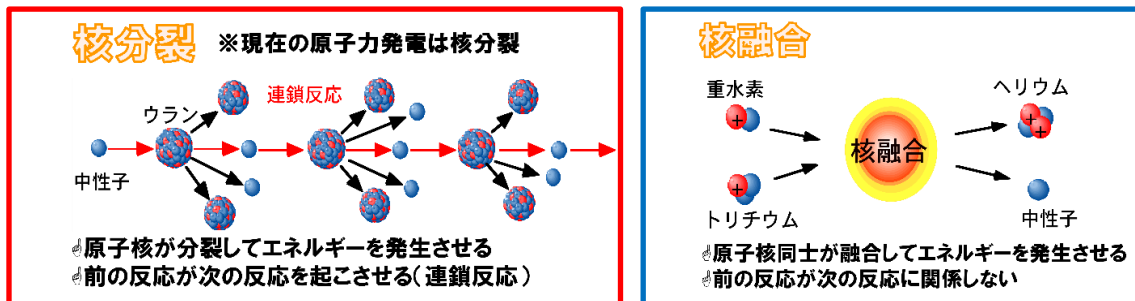
A: ITER の建設サイトは、国際的な観光地としてよく知られた南仏プロヴァンス地方にあります。サンポール・レ・デュランスという市に有り、フランス原子力庁カダラッシュ研究センターに隣接しています。最寄りの国際空港はマルセイユ空港となります。マルセイユからカダラッシュまでは 70km ほどあり、車で約 1 時間かかります。

Q: 核融合炉は原子力発電とは何が違いますか?

A: 現在の原子力発電は、原子核を分裂させたときに発生するエネルギーを取り出し発電をしています。原子力発電では、連鎖反応で次々と核分裂反応が起きますが、反応を起こしやすい代わりに、連鎖反応が暴走しないよう、取り扱いに工夫が必要です。また、高レベルの放射性廃棄物が発生します。

一方、核融合炉は原子核を融合させたときに発生するエネルギーを取り出します(☒)。核融合では連鎖反応はせず、燃料の供給を止めれば反応も止まるため、安全に取り扱うことができます。核融合の燃料となる重水素は海水に豊富に含まれ、トリチウムも海水に含まれるリチウムから人工的に

作り出すことができるため、燃料が尽きる心配もありません。また、核融合エネルギーは二酸化炭素、高レベル放射性物質が発生しないことや少しの燃料でたくさんのエネルギーを生み出すことができるという特徴もあるため、将来発電が実現すれば、環境問題・エネルギー問題を解決できる可能性があります。



Q：核融合エネルギーは実用化に向けてどのような計画で進められていますか？

A：現在、核融合の科学的・技術的実現を実証するために実験炉「ITER」を建設しています。ITERのファーストプラズマは2025年を予定しており、その後、重水素を使用した運転を経て、2035年に実際の燃料であるトリチウムを用いた運転を開始します。また、ITERで持続的な核融合燃焼実証後には、原型炉の建設、実用化というステップで核融合エネルギー実現に向けて計画が進められる予定です。

Q：ITER 機構では、何人くらい日本人が働いていますか？

A：日本人は、ITER 機構職員合計 842 人のうち、専門職員（経験のある技術者・研究者）26 人、支援職員（秘書、技術支援等）2 人の計 28 人が働いています。（2018 年 6 月末）

Q：現在の業務がバイオ研究ですが、ITER 機構で何か仕事がありますか？

A：残念ながらございません。量研機構のホームページに過去の公募情報を載せておりますので参考にしてください。（http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/page6_4.html）

Q：量研機構の登録制度とはどんなものですか？どのようなメリットがありますか？

A：量研機構では、募集情報提供のための登録制度を設けており、登録者の方には最新募集情報、ネイティブによる応募書類の英文添削、面接の支援など、全面的なサポートを行っております。面接支援の一環としては、模擬面接ビデオの閲覧、面接英語のトレーニングなど役立つ支援を実施しています。ぜひご活用ください。登録料は一切かかりません。配信不要であればお電話、メールでその旨ご連絡いただければ、即解約もできます。



展示ブースの様子